

## ブルンジ月報（2018年10月）

### 主な出来事

#### 【内政】

- 9月28日、政府は、ブルンジで活動する国際NGOに対し、3か月間の活動停止措置の実施を決定した。
- 13日、ブルンジの親政府のオンライン・ニュース（Ikiriho）が、名誉毀損の疑いで配信を中止された。
- 24日～30日、タンザニアにて第5回ブルンジ国民対話が開催された。

#### 【外政】

- 11日、NGO活動停止命令に反したとして、3名の援助従事者がブルンジ当局に逮捕された。
- 21日、劉奇葆（LIU Qibao）中国人民政治協商会議（CPPCC）第13期全国委員会副主席がブルンジを訪問した。

※以下は、明記したものを除きブルンジ・オンライン・メディア Iwacu の報道をとりまとめたもの。

#### 【内政】

##### ● NGOの活動停止発令（9月28日：Iwacu, 2日：RTNB）

9月27日、ンティグリルワ（Silas NTIGURIRUWA）国家安全保障評議会事務局長は、ブルンジ政府は、2017年に発布された新しい法律に違反する国内及び国際NGOについて、10月1日から3か月間、活動を停止する旨発表した。政府職員によると、ブルンジには約130の国際NGOがある。カレルワ大統領府スポークスマンは、29日、地元ラジオにて、いくつかのNGOは、同性婚を促進しており、これは我々の文化に反するものであると述べた。ニヨンガボ（Anicet NIYONGABO）上院議員は、ブルンジ人職員の雇用は憲法で定められた部族（フツ族：60%、ツチ族：40%）及び男女のバランスに従うべきであると述べた。

##### ● ウェブサイト Ikiriho の暫定的な配信中止（4日：RTNB）

ウェブサイト Ikiriho（ブルンジの主要なオンライン・ニュース、閲覧者は1日に35万人、東アフリカ諸国におけるニュースや事件などを扱う唯一のオンライン・ニュース）。同社は、ブルンジ国内の銀行における資金洗浄についての記事について、名誉毀損の疑いで、13日に暫定的に配信を中止された。12日、ニヤンドウィ（Sylvestre NYANDWI）検事から Ikiriho 宛てに配信中止の通知が届き、活動停止に至った。ブルンジ政府高官の話では、同決断は、政府内の「一族の争い」によるものであるとのことで、ブルンジの独立系メディア・ハウスは、2015年のンクルンジザ大統領の3期目の任期継続の際に、既に配信を中止されている。

## 【外政】

### ●NGO活動停止命令違反の疑いによる逮捕者（11日：News24）

10日、ブルンジ西部にて、10月1日より実施されている3か月間のNGO活動停止措置に違反したとして、国際救難委員会（IRC）に勤務する3名（ブルンジ人1名、コンゴ（民）人2名）が逮捕された。クリキエ公安省スポークスマンは、ムインガ州にて、NGO活動停止命令があるにもかかわらず、許可を得ることなくIRC職員3名が勤務をしており、警察の尋問を受けた旨述べた。ブルンジ国家安全保障委員会は、9月末、全ての国際NGOの活動を、NGOに関する新法を遵守するまで3か月間停止させる旨決定した。同法は、国際NGOに対し、予算の3分の1をブルンジ中央銀行に預けること、フツ族に有利な民族割り当てを守ることを求めている。内務省によると、ブルンジで活動を実施する130の国際NGOのうち、現在までに活動再開許可に必要な書類を提出したのは4団体のみとなっている。

### ●劉 奇葆（LIU Qibao）中国人民政治協商会議（CPPCC）第13期全国委員会副主席のブルンジ訪問（22日：RTNB）

21日から25日にかけて、劉CPPCC副主席は、ンディクリヨ上院議長の招待に基づきブルンジを公式訪問した。劉副委員長を団長とした一行は、中国の財政支援により実現したプロジェクトの視察を予定しており、ブルンジ・中国間の友好及び協力強化を目的としている。

### ●ブルンジ元王子暗殺に関するベルギー非難（24日：Iwacu）

14日、ブルンジは、反植民地主義で重要な役割を果たした独立の英雄、ルワガソレ王子（当館注：ブルンジ独立の祖）の1961年の暗殺はベルギー政府によるものだととして、ベルギー政府を非難した。ブルンジ政府は、10月の1か月間、同王子及び民主化の英雄であるンダダイエ元大統領に哀悼の意を表する服喪期間であることを理由に、26日から開催予定の第5回国民対話の延期を要求した。

### ●第5回ブルンジ国民対話の開催（30日：RNA）

EAC事務局によると、26日～30日までタンザニアのアルーシャで開催された第5回かつ最終回のブルンジ国民対話では、政府及び与党CNDU-FDDからの出席はなかったものの、カヤンザ・ロードマップ2018に彼らの視点は取り入れられた。政党及び政治家による対話に先立ち、ファシリテーター（ムカパ・タンザニア元大統領）とブルンジの市民社会、女性、青年、メディアとの間では、3日間のセッションも行われた。ムカパ・ファシリテーターは、仲介者であるムセベニ・ウガンダ大統領及びEACサミットに対して、ブルンジにおける状況に注視し、残された点で合意するためにブルンジ政府と反対を唱えている勢力の双方に関与することを勧告する、そうすることで2020年の自由、公正かつ信頼できる選挙の準備が行われると述べた。

（了）